

会 議 報 告 書

件 名	白井清掃センター解体工事完了報告会	
日 時	平成20年11月29日(土) 午前10時00分～11時00分	
場 所	白井清掃センター内現場事務所1階	
出席者	住 民	10名
	組 合	4名
	施工業者	安藤建設(株)2名
	施工監理	パシフィックコンサルタンツ(株) 1名
内 容		
Q	5 ページの検査結果について、解体前に比べ、土壌の測定結果及び大気の測定結果の桁が違うがどうということか。	
A	<p>土壌の結果について、A、B、Cについては標準土（買ってきた砂）を用いて、工事の解体中、後に影響がないか調査したものであります。Dについては、現地の土地を直接採取し測定したものであります。桁が違うとのことですが、測定値については微量のものであり、誤差（影響のない数値）であります。</p> <p>大気の結果については、冬は大気中の粉じんが多い傾向にありますので、全国的にどこで測定しても、測定値が高く出る傾向にあります。また、例えば風上の値が高くて、風下が低い場合であれば工事の影響等が考えられるが、今回の測定結果を見ると全体的に同じぐらいの値であり、基準値内であるため工事の影響はないと考えられます。</p>	
Q	土壌の測定値に比べて、大気中の測定値が基準値に近いが問題はないのか。	
A	環境省で毎年、測定点を決めて全国で測定しているが、今回の結果については一般的な数値であります。交通量の多い道路の交差点や野焼きをしている田んぼ周辺等で測定した場合基準値を超える場合も見受けられます。	
Q	コンクリートを細かく砕いて、埋め戻して再利用していると思うが、ダイオキシン類が土壌から大気に出ているという恐れはないのか。	
A	ダイオキシン類に汚染されている解体材は全て特別管理産業廃棄物として処分しています。仮に土壌にあっても、水で表面の物質が流されることはあると思うが、空気に影響は与えません。	
Q	土壌の調査を定期的に測定はしてもらえないのか。	
A	全ての機器類を洗浄して、ダイオキシン類が除去されたことを確認してから解体工事を行っていますので、土中に存在していることは考えられないため、定期的に測定することは考えておりません。	
Q	周辺土壌Dの値について解体中に上がっているが、工事の影響ではないのか	
A	測定値については微量な数値であるため、採取箇所や、測定の誤差の範囲であり工事の影響ではないと考えます。	
Q	ここの土地は白井市所有のものか。また今後の跡地については組合で考えるのか。	
A	印西地区環境整備事業組合が所有する土地であります。今後については、組合及び構成している5市町村で考えていきます。	

- Q この用地はごみ処理関係以外他に転用できないのか。また今後の管理についてはどのように考えているか。
- A 今までは、白井市の放置自転車置き場等で利用していたところですが、組合が所有している土地と考えると、この組合については構成市町村のごみを共同処理する目的で設置されたものでありますので、ごみ処理関係以外の一般行政事務を行うことはできません。また、特定の市町村だけのために事業を行うというのも共同でお金を負担して運営していますので、難しいです。ただ、現在のところ跡地利用については決定しておりませんので、白井市から暫定的に使用したいとの話があれば、活用していただくことも考えます。管理については組合で行いますが、毎日確認することも困難であるため、何か気になることがあった場合は地区の方から組合に連絡をいただければと思います。
- Q 今後の植栽の管理について、地区と相談していただきたい。
- A 3月頃予定しております。剪定の時期になりましたら、こちらから相談させていただきます。
- Q 跡地利用の計画について、情勢の変化等あったら適宜情報をいただきたい。
- A 組合については、印西にあるクリーンセンターの次期更新施設についても考えていかなければならない時期であります。今後のごみ処理全体で考えたとき、どれが効率的で効果的かを考えなければならない状況でありますので、情勢の変化等ありましたら、話をさせていただきます。